文化

思考 時空超え飛翔

作家・多和田葉子さん出版「百年の散歩」

ベルリンの町が主人公

目に飛び込んでくる文字。耳に入ってくるさまざまな言語。何かを食べ、何かを買い、すれ違う人たちを観察し、同時に観察されている。ベルリンを歩く「わたし」の思考は時に言葉と戯れて踊り、時に時空を超えて飛翔する。ベルリンに住み、日本語とドイツ語の両方で書く多和田葉子さんが出版した「百年の散歩」（新潮社）は「ベルリンという町を主人公にした」小説だ。言葉や国を越境しながら創作を続ける作家に聞いた。

「ベルリンは面白い町。歴史が感じられるし、世界が感じられる。文化の町でもあります」と話す多和田さん＝東京都新宿区の新潮社

土地の記憶濃厚

多和田さんは1960年、東京都生まれ。82年にドイツ・ハンブルクへ移住し、2006年からはベルリンに暮らす。土地の記憶が色濃い町だ。

「ベルリンを歩くと、第2次大戦や東西に分断された冷戦時代を思い出させるものにたくさん出合う」。例えば道には「つまずきの石」というプレートがはめ込まれている。かつてユダヤ人が住んでいた場所で、強制的に連行された人の名前や生没年が刻まれている。

「散歩していると、100年ほどのベルリンを見ることになる。いろんな時代が頭の中でミックスされていくんです」

「わたし」は気楽に歩いているが「思いもよらぬ時間の割れ目」から「名前のない危険」が顔をのぞかせる。

小説の各章は「カント通り」「カール・マルクス通り」「プーシキン並木通り」など、実在する通りの名だ。「選んだのは、芸術家や本を書いた人たちの名を冠した道。カント通りでカントの本を読み、カール・マルクス通りでマルクスの思想について考えることもできる」。各章、計10人へのオマージュ（敬意を込めた作品）だが「実は一番大事な人をわざと抜かしている。ベルリンを散歩し、ベルリンの本を書いたベンヤミン。それが隠し味です」。

経済は欲に直結

「わたし」は喫茶店でスープを注文したり、街頭でイチゴやサクランボを売りつけられそうになったり。「町を歩いていれば毎秒決断を迫られる。立ち止まってショーウインドーを見るか見ないか、店に入るか入らないか、買うか買わないか」

「経済活動は日常であり、人間の欲望に直結している」と多和田さん。極端に安い製品は、どこかの国で子どもが強制的に働かされた結果かもしれない。「大げさに言えば、自分が何かを買うことによって、誰かが死ぬかもしれない。何かを買う瞬間、私たちは世界に触れる。店が並ぶ通りを歩くというのは、実は恐ろしいことなんです」

日本人の「わたし」はドイツでは移民として注視されている。近くで捕鯨の話をしている人たちがいると「わたしが日本人であることに気がつかないといいのだけれど」と思ってしまう存在だ。

「捕鯨や原発事故の話題は危険です。日本は被爆国なのに原発をつくり、事故を起こした恥ずかしい国と見られている」

全編に漂う孤独

「わたし」は町を巡りながら、常に「あの人」を待っている。待ち合わせをしているようだが、なぜか会えない。満たされない思い、孤独で不安な気配が全編に漂う。そして最後は、すがすがしい別れが示唆される。

「限りなく欲望が刺激され、求めているものは手に入らない。そして人々は孤独にさまよっている。それが都市なのだと思います」

「百年の散歩」

culture

「バベルの塔」を解剖

大友克洋さんが新作絵画

「AKIRA」などの作品で知られる漫画家の大友克洋さん（登米市出身）が、16世紀のオランダの画家ブリューゲルの傑作「バベルの塔」に着想した新作絵画「INSIDE BABEL」を発表した。東京・上野の東京都美術館で開催中の「ボイマンス美術館所蔵 ブリューゲル『バベルの塔』展」に合わせ、7月2日まで同美術館ロビーに展示される。

細部の表現にこだわる大友さんは、細密な画風のブリューゲルのファンで、昨年11月にオランダのボイマンス美術館を訪ねて「バベルの塔」を間近で観察。学芸員とも交流して想像を膨らませ、塔の内部と断面を描くことを決意したという。

塔に切れ込みを入れて解剖する形で、らせん状の構造や人々の営みを詳細に描いたスケッチ約50枚を制作。それを基にコラージュアーティスト河村康輔さんが筆致や色調を入念に調整して「バベルの塔」の画像とコンピューターで合成し、本家そっくりの仕上がりを実現した。

東京での発表会で大友さんは「ブリューゲルの絵は地平線が低く、塔の巨大さを強調する一方で人間は小さく描いている。人間の傲慢に怒る神の目を感じる」と語った。

新作絵画「INSIDE BABEL」の発表会で語る大友さん＝東京都中央区のDNP銀座ビル

15年の集大成 古里思い歌う

畠山美由紀さん、仙台フィルと来月共演

「オーケストラ用のすてきなアレンジも楽しみにしてほしい」と語る畠山さん＝河北新報社

仙台フィルハーモニー管弦楽団と気仙沼市出身の歌手畠山美由紀さんが共演する「畠山美由紀15th anniversary×仙台フィル～歌で逢いましょう～」（仙台フィル主催）が7月29日、仙台市青葉区の東京エレクトロンホール宮城である。演奏会に先立ち、畠山さんが河北新報社を訪れ、「仙台フィルとはいつか共演したいと思っていたが、歌が人の縁を導き、夢がかなった。大舞台だが、伸び伸びと歌いたい」と笑顔を見せた。

畠山さんは10人編成のバンド「Double Famous」や男女のユニット「Port of Notes」のボーカリストを経て、2001年にソロデビューした。温かく包容力のある歌声と情感豊かな曲作りに定評があり、実力派歌手として地歩を固めている。

演奏会ではデビュー曲「輝く月が照らす夜」や東日本大震災後に古里に思いを寄せて作った「わが美しき故郷よ」、切々と歌い上げる「歌で逢いましょう」など自らの代表曲をはじめ、「テネシーワルツ」「オンリーユー」などのスタンダード曲の計15曲を披露する。

指揮はオーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者の鈴木織衛さん。ピアノ奏者中島ノブユキさんが編曲を担当した。気心の知れたギター奏者笹子重治さんやボーカリスト小池龍平さんらが客演を務める。

仙台フィルの繊細なストリングスの響きとバンド演奏、畠山さんの歌声が相まって、心がぬくもる演奏会になりそうだ。

畠山さんは「昨年がデビュー15周年でさまざまな演奏会を開いてきたが、今回の演奏会を15周年イヤーの集大成と位置付けている。古里の宮城で仙台フィルと共演することには特別な思いがあり、誇りに思っている」と話した。

開演は午後5時。入場料はS席6500円、A席5500円、全席指定。連絡先は仙台フィルサービス022（225）3934。

演劇

被災者の心 誠実に表現

「ファミリーツリー」（ファミリーツリー製作委員会）

「ファミリーツリー」の一場面

東日本大震災で被災した古里のありようを考えようと、仙台、名取両市の演劇人の有志が企画したプロデュース公演。被災地に住む家族の不思議な絆を通じて、震災後を悩ましい思いで生きている人の気持ちを浄化するような心温まる劇だった。

震災後の春、海辺の町の小高い山でお花見を楽しむため、ある家族と親戚らが集まる。和気あいあいとしたうたげの終わりに、誠一（飯沼田和）と婚約者のさちこ（永沢真美）だけが実在の人物で、他の人物は震災の犠牲者ということが分かる構成だった。

笑いが絶えないにぎやかなうたげと、最後に生者と死者の魂が交感する場面の対比が見事だった。思いやりが真っすぐに伝わってきて、思わず涙腺が緩んだ。

出演者11人の掛け合いが絶妙で、気心の知れた人間模様が巧みに表現されていた。中でも誠一の祖母役を務めた82歳の高橋かつ子は、家族を癒やす役柄を好演。父親役の小畑次郎はコミカルで人間味あふれる演技で観客を引き付けた。

作、演出は震災で実家を失った名取市出身で東京都在住の俳優相沢一成、プロデュースは仙台市の伊藤み弥が担った。

被災者の心情をくみ取り、人生の機微に通じた脚本が、公演の成功の原動力になったと思う。全編が宮城の方言だったため、せりふの一つ一つが心に染みた。奇をてらわずに、誠実に思いを伝えようとする舞台作りに好感が持てた。再演を望みたい。

（敬称略）

（生活文化部・沼倉淳）

＝5月19日、仙台市宮城野区文化センター

短信

◆災害乗り越えた先人の記録

大災害を乗り越えた先人の歩みを明らかにする企画展「ナマズが暴れた!? 安政の大地震展」が、東京都文京区の東洋文庫ミュージアムで開催中だ。8月6日まで。

江戸末期の日本を襲った「安政の大地震」について記録した史料や、絵師の歌川広重が地震後に描いた連作「名所江戸百景」から、当時の状況を浮かび上がらせる。作者不明の浮世絵「しんよし原大なまづゆらひ」では、巨大ナマズをこらしめる吉原の遊女や客の姿が生き生きと描かれる。

この他、日本を中心に、古代から近代にかけて起きた世界各地の大災害の文字史料や絵図を展示。熊本地震から1年がたったのを機に、先人が残した教訓を読み解く。

一般900円など。火曜日休館。連絡先は同ミュージアム03（3942）0280。

県からのお知らせ

©宮城県・旭プロダクション

※日程や申し込み方法など、各お知らせのより詳しい内容は㊐にお問い合わせください。アドレスを掲載しているお知らせは、ホームページにも詳しい情報があります。
※東日本大震災に関する各種制度および相談窓口などの情報は、データ放送（NHK総合、ミヤギテレビ）で配信しています。

宮城県警察官A（大卒・大卒見込み）採用試験・選考考査

●職種／①男性一般75人程度②男性武道指導5人程度③女性一般15人程度④女性武道指導2人程度⑤サイバー捜査官3人程度⑥財務捜査官1人程度
●申込受付期間／6月16日（金）まで
●第1次試験日／7月9日（日）
●受験申込書／県内各警察署などで配布、または下記ホームページからダウンロード
㊐ 〒980-8410 仙台市青葉区本町3-8-1 県警察本部警務課 ☎0120(204)606
http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/keimu/police/

火薬類取扱保安責任者（甲種・乙種）火薬類製造保安責任者（丙種）試験

●試験日／9月3日（日）
●試験会場／宮城県建設産業会館
●願書／宮城県火薬類保安協会、宮城県建設業協会支部、県消防課、各消防署（局）で配布
●願書受付／6月20日（火）～29日（木）に下記試験事務所へ
㊐ 〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館6F 全国火薬類保安協会宮城県試験事務所 ☎022(225)0931
㊐ 県消防課 ☎022(211)2377

政策評価・施策評価などに関する意見募集

平成28年度に実施した政策・施策の評価などに関する資料を公表し、県民の皆さんのご意見を募集します。
●資料公表場所／県政情報センター、各地方振興事務所（仙台を除く）県政情報コーナー、県議会図書室（県議会庁舎）、下記ホームページ
●提出方法／6月23日（金）までに郵送（消印有効）、ファクシミリ、Eメールのいずれかで下記へ
㊐ 〒980-8570（所在地記載不要）県震災復興政策課
☎022(211)2406 FAX 022(211)2493
Eメール seisakuiken@pref.miyagi.lg.jp
http://www.pref.miyagi.jp/site/hyoka/29sei-ikenboshu.html

低炭素型水ライフスタイル導入支援事業

下水道未整備地域にお住まいで、低炭素化を促す設備を新たに設置した県民の方に費用の一部を補助します。
●対象／個人で節湯水栓（2口以上）、節水型トイレ、低炭素社会対応型浄化槽（設置が個人）の全てを設置し、平成29年1月1日以降に使用開始された方
●補助金額／1世帯あたり6万円（先着順300世帯まで）
●募集期限／平成30年1月31日（水）（補助世帯数を超えた場合、受付を終了します。）
●申し込み・㊐ 県循環型社会推進課
☎022(211)2648

みやぎ花のあるまちコンクール

花づくりや緑の育成を通じて、地域づくりや人々との交流を行う団体を募集します。
●対象／地域や職場などの団体
●応募方法／応募用紙に必要事項を記入し、花づくりや緑の育成をしている状況が分かる写真を添えて9月15日（金）までに持参（土日・祝日を除く）または郵送（消印有効）により右記へ
●応募用紙／ホームページからダウンロードもしくは郵送により提供
※入賞した団体には、賞状および商品券が贈られます。
㊐ 〒980-8570（所在地記載不要）
すばらしいみやぎを創る協議会事務局（県共同参画社会推進課内）☎022(211)2576
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/subamiyaindex.html

看護学生・未就業看護師などの病院就職ガイダンス

●対象／県内外の看護系大学や看護師等養成所に在学する学生、未就業看護師など
●参加病院など／県内68病院および宮城県ナースセンター
●費用・申し込み／無料・不要
●日時／6月18日（日）午前11時～午後3時
●場所／仙台国際センター（仙台市青葉区）
㊐ 県医療人材対策室 ☎022(211)2615
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryoujinzai/kango011-guidance.html

宮城県登録販売者試験

医薬品販売の資格試験を実施します。
●試験日／8月30日（水）
●試験会場／産業見本市会館サンフェスタ（仙台市若林区）
●受験手数料／1万7600円
●願書受付期間／6月5日（月）～7月4日（火）（郵送の場合は6月30日（金）（消印有効）まで）
●願書配布／下記で配布またはホームページからダウンロード
㊐ 県の各保健所・支所
※仙台市の保健所では扱っていません。
㊐ 県薬務課 ☎022(211)2653
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/yakumu/h29shiken.html

戦没者慰霊巡拝参加者募集

県では、先の大戦で亡くなられた方々の国主催の慰霊巡拝に参加を希望するご遺族を募集し、国への推薦を行っています。
●巡拝地域・時期／①硫黄島（第1次）・10月（2日間）②フィリピン・2月（10日間）ほか
●対象／慰霊巡拝を行う地域における戦没者の遺族のうち、配偶者（再婚した者を除く）、父母、子、兄弟姉妹、子および兄弟姉妹の配偶者（夫婦での参列に限る）、孫、おい、めいの方
●申込期限／①7月7日（金）②9月25日（月）
㊐ 県社会福祉課 ☎022(211)2563

気仙沼高等技術専門校オープンキャンパス

●日時／6月18日（日）午前9時～午後3時
●内容／全体説明、施設見学、訓練体験（自動車整備科・オフィスビジネス科・溶接科）
●対象／どなたでも参加できます
●費用・申し込み／無料・不要
㊐ 県気仙沼高等技術専門校
☎0226(22)7068

「夏休み親子工作教室」参加者募集

親子でモノづくりの楽しさを体験できる工作教室を開催します。
●内容／「ホバークラフト」の製作
●対象／小学校4～6年生の親子・各回25組（先着順）
●開催日時／①7月22日（土）午前10時～正午②22日（土）午後2時～4時③23日（日）午前10時～正午④23日（日）午後2時～4時
●会場／トヨタ東日本学園（大衡村）※駐車場有り
●費用／無料
●募集期間／6月5日（月）～7月7日（金）に、はがき（消印有効）、ファクシミリまたはEメールに、参加者氏名（親子）、子の学年、郵便番号、住所、電話番号、希望日時（第1希望～第4希望）を明記し下記へ
㊐ 県産業人材対策課
☎022(211)2764 FAX022(211)2769
Eメールsanzinp@pref.miyagi.lg.jp

教科書展示会のお知らせ

平成30年度に小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で使用される教科書の見本を一般に公開する展示会を開催します。
●日程／6月16日（金）から14日間
※会場は地域ごとで異なりますので、詳しくは下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
㊐ 県義務教育課 ☎022(211)3646
http://www.pref.miyagi.jp/site/gikyou-kyo

志津川自然の家 サマー・チャレンジin南三陸 参加者募集

●内容／シーカヤック、いかだ作りなどの海洋活動、無人島探検などの野外活動ほか
●日程／8月5日（土）～11日（金・祝）（6泊7日）
●対象／小学5年生～中学3年生・30人（応募多数の場合は抽選）
●費用・申し込み／2万円程度・7月7日（金）往復ハガキ（必着）またはEメールに住所、氏名、性別、学校名、学年、生年月日、保護者氏名、電話番号を明記し下記へ
㊐ 〒986-0781 本吉郡南三陸町戸倉字坂本88-1 県志津川自然の家 ☎0226(46)9044
Eメールszm@pref.miyagi.lg.jp

⚠PCB廃棄物は処分期間内の適正な処分が必要です

PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、燃えにくく、電気絶縁性が高いなど、化学的に安定した性質をもった油状の物質で、変圧器やコンデンサー、安定器などの電気機器の絶縁油として使用されてきました。しかし、脂肪に溶けやすく、人体に有害であることが分かり、昭和47年から新たな製造が禁止されています。

有害なPCBを含有している電気機器で廃棄物になったものは、腐食などにより機器からPCBが漏れないように適正に保管、管理し、決められた処分期間内に適正に処分しなければなりません。

種　類	高濃度PCB廃棄物（5000ppmを超えるもの）	低濃度PCB廃棄物（5000ppm以下のもの）
処分場所	中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）北海道処理事業所	無害化処理認定施設、都道府県知事等許可施設
処分期間	①変圧器・コンデンサーなど 平成34年3月31日まで ②業務用照明器具の安定器など 平成35年3月31日まで	平成39年3月31日まで

こんな電気機器はありませんか？

古い工場やビルの電気室やキュービクル、照明器具はPCBを含有している場合がありますので、確認をお願いします。感電のおそれがありますので、必ず電気主任技術者などが確認してください。

PCB含有機器の判別方法や処分などについては、下記へお問い合わせください。

問い合わせ先	電話番号	管轄区域
県循環型社会推進課	022(211)2463	
仙南保健所	0224(53)3118	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町
塩釜保健所	022(363)5501	塩竈市、多賀城市、富谷市、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村
塩釜保健所岩沼支所	0223(22)6295	名取市、岩沼市、亘理町、山元町
大崎保健所	0229(91)0711	栗原市、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町
石巻保健所	0225(95)1447	石巻市、登米市、東松島市、女川町
気仙沼保健所	0226(22)5127	気仙沼市、南三陸町
仙台市事業ごみ減量課	022(214)8235	仙台市

企画／県広報課